

京都検定 公開テーマよもやま話

第27回

京都検定講演会講師による「よもやま話」。京都検定を通じて、京都の魅力を再発見しましょう。

第27回京都検定 2級公開テーマ「京都の博物館・美術館」

「芸術の秋」施設の魅力に注目！



塩原 直美
京都観光
アドバイザー

今年発刊された「新版増補」の

わけて捉えることが重要です。

本館「明治古都館」は、九条山

京都検定テキストには、「公園・文化施設」の項目が追加されました。2級の公開テーマが、まさにその「博物館・美術館」。でも心配ご無用、皆さんが足を運んでいるスポットが大半だからです。観たい作品、興味のある企画展があるたびに、訪れているのではないのでしょうか。しかし、「その美術館、博物館の開館経緯、

まずは運営が「公共」「個人（財団含む）」「社寺」のいずれであるかを調べてみましょう。「個人（財団含む）」運営の場合、「大西・河井・北村・並河・野村・橋本・細見・楽」といった人物名が館の名称に入ることが多いです。それぞれの特長や傾向をまとめてみるとよいでしょう。一方「公共」が運営する博物館・美術館は、開館目的や経緯が重要で、さらに建造物に注目することもポイントです。

浄水場ポンプ室も手掛けた片山東熊の設計で、国の重要文化財です。一方、「平成知新館」は谷口吉生の設計です。恭明宮は宮中にあった仏像・仏具の奉安場所だったな、野外展示にはロダンの《考える人》像があつたな、あの素敵な表門は重要文化財…。所蔵国宝は29件（令和7年3月31日現在）ありますが、テキスト掲載作品は必ず押さえておきましょう！

谷口 吉生設計の京都国立博物館「平成知新館」

特長は？」と問われるとどうでしょう？これがまさに今回のポイント。博物館・美術館を学ぶ際は、その所蔵品の傾向だけでなく、建物自体の特長や魅力も合

私の推しは「トラりん」なので、次回検定のメインビジュアルにもなっている「京都国立博物館」を例に挙げると、特長は、その地の歴史的な経緯にあります。過去から辿ると、「旧方広寺境内↓恭明宮↓帝国京都博物館↓京都帝室博物館↓恩賜京都博物館↓現称」と変遷しています。開館当初の姿の

このように、所蔵品だけでなく施設そのものに注目して紐解きながら、「芸術の秋」にあらためて、京都の博物館・美術館に足を運んでみてはいかがでしょう？

※京都観光文化検定試験®、京都検定®およびそのロゴマークは、京都商工会議所の商標です。無断で使用することはできません。

第26回京都検定 G-1グランプリ表彰団体

- 👑 1位 京観心々
- 👑 2位 京都検定で京都を楽しむ会
- 👑 3位 てらはうす



◀京都検定の詳細はこちら または

京都検定

7月13日に第26回京都検定を実施し、10歳から89歳までの老若男女計1689名の方にご受験いただきました。過去の本コラムでも取り上げた「京の観音巡り」を公開テーマ問題として10問出題しました。第27回（12月14日施行）も現在申込受付中！10名以上での申し込みで受験料が割引になる団体受験制度もありますので、ぜひお申し込みください！

第27回の
申込受付中！

※京都検定では「公開テーマ」に関する問題が各級10問出題されます。